



ご参観ありがとうございました

先週の授業参観では、沢山の参観ありがとうございました。久々の授業参観に子ども達も張り切って臨みましたので、どのクラスも活気に満ちていたように思えたのは、決して校長のひいき目ではないと…。一人一人の1年間の成長をお見せできたのではないかと感じています。



椅子が足りない学年が続出でした～。

いやあ、たくさんの保護者さんが参加してくださいました。

職員室に戻ってきた先生方に尋ねると、明るい声が返ってきました。

感染症の拡大防止のために、ずっと制限をしてきた授業参観、春からの5類への移行と共に、日程や形態を従来通りとしましたが、一抹の不安は、懇談会への保護者の皆さんの参加率でした。限られた時間ですので、今回、懇談会の資料はA4一枚とし内容も要点を絞ったものにしたのですが、以前の懇談会では参加者は学年の1/3にも満たなかったとか…。

評議員会を同時に開催していましたので、懇談会の様子を知ることはできなかったのですが、多くの参加者に、担任の先生方の顔は自然と笑顔になります。授業そのものはもちろんですが、懇談会に保護者の皆さんの参加が少ないと、心のダメージは大きいものです。

感染症が5類となったことも理由の一つとは思いますが、それ以上に多くの保護者の皆様が、子ども達の学年での学習や生活に関心を持たれている証と受け止めています。有意義な時間を共有できましたこと、心より感謝いたします。

インフルエンザや胃腸炎のため体調を崩し欠席する子ども達も多く、参観授業の準備が万全でなかったクラスもあったかと思えます。しかし、担任をはじめとしたスタッフも、ご覧いただけただけで励みになります。忙しい中の来校ありがとうございました。

また、校庭のコンディションが悪く、駐車場として使用できなかったため混雑し、授業の開始に間に合わなかった保護者の皆様にはお詫び申し上げますとともに、次回の課題とします。

実施できなかった全校生による「郷土かるた大会」は、形を変えて後日実施します。HPで紹介しますので、どうぞお楽しみにしてください。

今年度最後の評議員会&常任委員会

今年度3度目の評議員会を参観日に合わせて実施しました。

授業を参観していただいた後、校長室にて5人の評議員の皆様から授業の感想や子ども達の地域での様子、学校経営へのアドバイスなどをいただきました。あいさつがよくなったことや徒歩通学の子が増えていることなども話題となりました。

夕方からの開催となった常任委員会では、今年度の活動を振り返っての成果や課題についての確認がありました。成果としては、実施した学年行事がどの学年も満足のいく取り組みが出来たという感想が、課題としては、奉仕作業の参加者が60%程度と低かったことが話題となりました。また、本部役員、角田 香さん、加藤 祐美さんへ感謝状の贈呈も行いました。役員の皆様、評議員の皆様1年間大変お世話になりました。



2月全校集会「3月をつむぐ」～たぬきの糸車より～

時：2月27日

於：オンライン

むかし、ある山おくに、きこりのふうふがすんでいました。山おくの一けんやなので、まいばんのようにたぬきがやってきて、いたずらをしました。そこで、きこりはわなをしかけました。ある月のきれいなばんのこと、おかみさんは、糸車をまわして、糸をつむいでいました。キーカラカラ キーカラカラ キークルクル キークルクル
ふと気がつくど…、

みんなが知っている「たぬきの糸車」の一節です。今ね、ちょうど1年生が国語の時間に勉強しています。思い出した人も多いでしょ!? 2年生どうですか? 6年生はどうですか?

そこで、ジャジャーン!本物の糸車を1年生から借りてきました。ちょっと回してみますね? さあ、「キーカラカラ キークルクル」という音は聞こえるでしょうか? 耳を澄ませてください。

…????? 聞こえましたか?

糸車はね、綿から糸を作る機械です。昔の人はね、なんでも自分たちで作り出しました。お店はなかったから手に入らなかったし、手に入っても高価でしたから自分たちで作ったのですね。この糸車はおそらく50年以上も前のものだと思います。もしかしたら、僕が生まれるより昔の物かもしれません。もう使うことはありませんが、かつてはどの家にもありました。

ところで、綿から糸を作り出すことを「つむぐ」といいます。漢字では糸へんに方角の方と書きます。これは様々なところから集まった綿が一本の糸になることを表した文字です。(おそらく)僕はね、この「つむぐ」という言葉が好きです。理由は長くなるのでまたの機会にしますが、最近石小では、この「つむぐ」と言う言葉がぴったりだな～と思う場面があました。それは、皆さんの生活の様子からです。

例えば「なわとび記録会」の大なわです。得意な人も得意でない人も、好きな人も好きでない人も、みんなが一本の長縄に向かって一直線に向かっていました。例えば29日の6年生を送る会です。それぞれの学年が役割を分担し、6年生に少しでも喜んでもらおうと心を一つにして準備を進めています。5年生の鼓笛もそうですね。

何か一つの目標に向かって力を合わせて努力する姿は、正に「つむぐ」ことですね。

気がつけば、金曜日から3月、最後の月です。春には友達や先生と別れることもあります。大切な一ヶ月、心の糸車を回して「キーカラカラ キークルクル」と、みんなで「つむぐ」月にしてほしいと思います。

今月の表彰(嬉しい便りが続々と…)

<税に関する絵はがきコンクール>

須賀川法人会表彰 入選 6年：鈴木 杏奈 木戸 菜緒

福島県法人会表彰 銀賞 6年：木戸 菜緒

東北六県法人会表彰 優秀賞 6年：木戸 菜緒

<県書きぞめ展> (硬筆) 書きぞめ奨励賞 1年：石井 麻絢 2年：石井 凜

(毛筆) 書きぞめ準大賞 4年：金澤 澄怜

書きぞめ奨励賞 3年：長澤 優 6年：遠藤なずな

※この他多くの入賞(特選等)に加え「学校賞」も受賞しました。

<県読書感想画コンクール> 優良賞 3年：添田 陽太 曲山 麻華

<「小さな親切」実行賞> 1年：荒川 尊思 十文字 希柑 鈴木 滯 2年：鈴木 感人

3年：矢吹 英汰 大串 栞奈

4年：永沼 大地 佐藤恋央奈 小木 千寛 金澤 澄怜

5年：矢内 璃音

6年：永林 彪雅 矢内 一知 小松 直人 (敬称略)